

他者の感想に触れると、同じ本を読んでも、自分の考え方と同じ点、違う点に気づくと思います。  
 本と人、人と人がつながることで思考の幅が広がりそうですね。  
 これを機会に、読書会やビブリオバトルなどに参加して、また違った形の  
 集団読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。



○昔は、この物語がよくわからず、ただ怖かったけれど、改めて読むと、理解できる部分も増え、より一層深く知ることができました。またグループで他の人と話し合いをすることで、自分では気づくことのできなかつたことに気づくことができ、一人一人考えることは違うのだと思いました。(3年)

○この物語を読んで、どんなに辛いとき、幸運なときでも、良心を忘れず、周りへの配慮をすることが大事なのだと思いました。どんなときも、常に思いやりを持って過ごしたいと思います。(3年)

○『蜘蛛の糸』を読んで、悪い行いをしても良い行いをすれば、自分に良いことが返ってくる。逆に考えてみると、どんなに良い行いをしても、自分勝手な発言や行動をすることによって、今まで自分がやってきた良い行いも全て水の泡になってしまうと思いました。自分は健陀多のようになりたくないと思っていても、余裕がなくなるといつの間にか自分中心の考えになってしまうと思い知らされました。今までの自分の言動を見つめ直し、これからの言動に気をつけようと思います。(3年)

【朗読者の感想】

○今回、この物語を朗読するため、何回も読んで練習をするうちに、健陀多の焦りや、お釈迦様の思いが風景を通じて、よく伝わってきました。優しい心を持って生活していきたいと思いました。

○一斉読書の本番までに、何度も練習しましたが、間をとってゆっくり読むことは難しく、健陀多とお釈迦様の気持ちを考えながら読むことができるまで、少し時間がかかりました。練習より本番で読むのが速くなってしまったので残念です。とても緊張したけれど、よい経験ができてよかったです。

○皆にきちんとしたものを聞いてもらうため、練習を繰り返しているうちに、物語の内容を理解し、登場人物の気持ちがわかるようになってきました。それが楽しくて、練習も全く苦にはなりません。また、他の2人の朗読者がとても上手でびっくりしました。指導して下さった先生方にも感謝しています。とてもよい機会でした。

寄贈図書の案内

赤い羽根共同募金の配当金により、始良市社会福祉協議会から13冊の本を寄贈いただきました。

貸し出しできない本がありますので、昼休みや放課後、図書館で読んでくださいね。

- 『この世界の片隅に 上・中・下』 3冊
- 『コウノドリ 9~11』 3冊
- 『決してマネしないでください 1~3』 3冊
- 『はたらく細胞 4』 1冊
- 『黄色い本』 1冊
- 『うた恋。和歌撰』 1冊
- 『李陵・山月記』 1冊



『決してマネしないでください 1~3』 蛇蔵  
 理系大学を舞台に、今日も最高の頭脳を使った、最高におバカな実験が繰り広げられる。例えば、「スタントマンが燃えても平気な理由を検証する」「切れた蛍光灯をとます」「フライドチキンで骨格標本を作る」などなど。

返却について・お知らせ

2学期も終盤です！  
 返却期限の過ぎた本を借りたままにいませんか？  
 次に読もうと待っている人もいますので急いで返却しましょう！

期限内に読み終わらなくても、貸し出しの延長ができませんので、一度、返却して図書館のカウンターで申し出てください。

万が一、汚損や紛失した場合は、すぐに図書館へ連絡をお願いします。

12/22(金)終業式後、読書会をする予定です。  
 興味のある生徒は、図書館まで。



『この世界の片隅に 上・中・下』 この史代戦中の広島県の軍部、呉を舞台にした家族ドラマ。主人公、すずは広島市から呉へ嫁ぎ、新しい家族、新しい街、新しい世界に戸惑う。しかし、一日一日を確かに健気に生きていく…。

『はたらく細胞 4』 清水茜  
 「細胞擬人化漫画」第4弾。  
 マクロファーシさんの“ヒミツ”ってなんだ！？優雅にして過激なマクロファーシさんの裏の顔が明かされる「黄色いブドウ球菌」ほか、全5編を収録！！

